

滋賀県内の労働災害発生状況

平成21年4月
滋賀労働局

全産業の死傷災害は前年より大幅増加！！

－製造業は横ばい状態 建設業は増加－

1. 概況

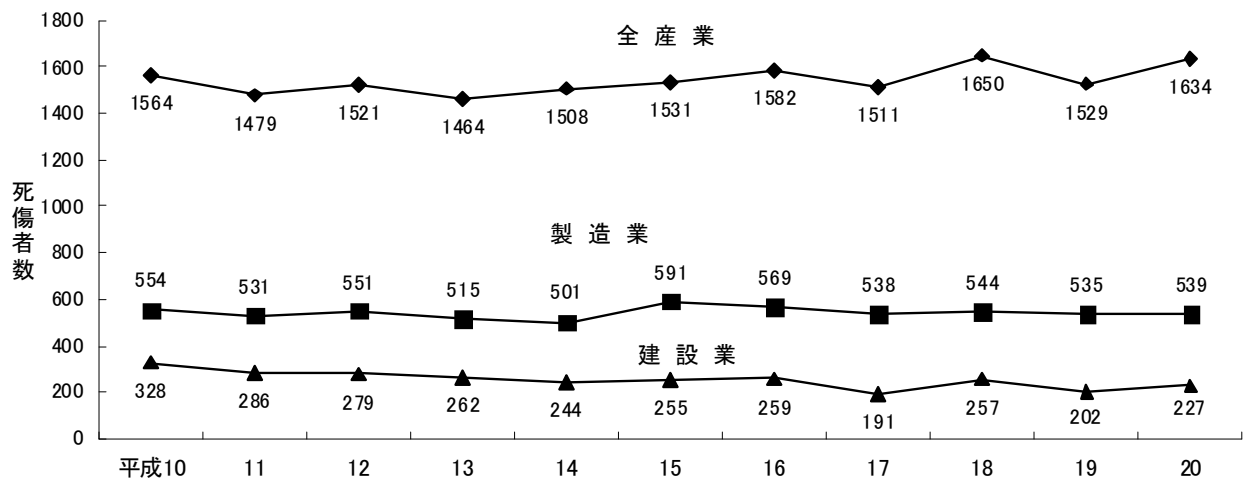
① 災害発生状況

滋賀県内の労働災害による休業4日以上死傷者数は、第1図に示すように、長期的に増加傾向にある。

平成20年の休業4日以上死傷者数は、全産業では1,634人と前年に比べ105人(+6.9%)の増加となった。

このうち、製造業は539人と前年に比べ4人(+0.7%)、建設業は227人と前年に比べ25人(+12.4%)の増加となった。

<第1図> 休業4日以上死傷者数の推移

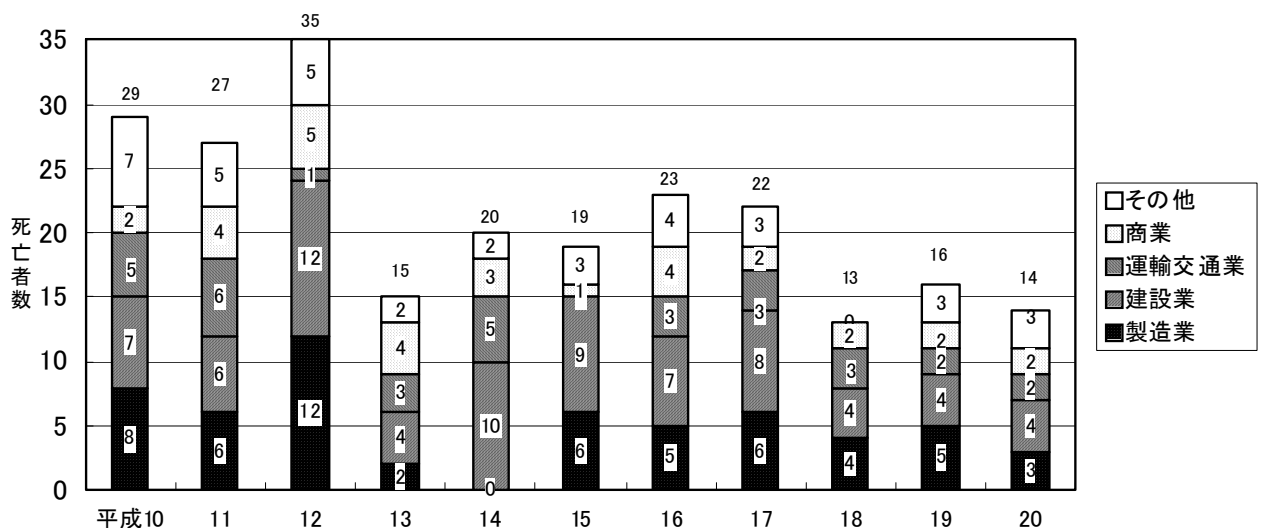


② 死亡災害発生状況

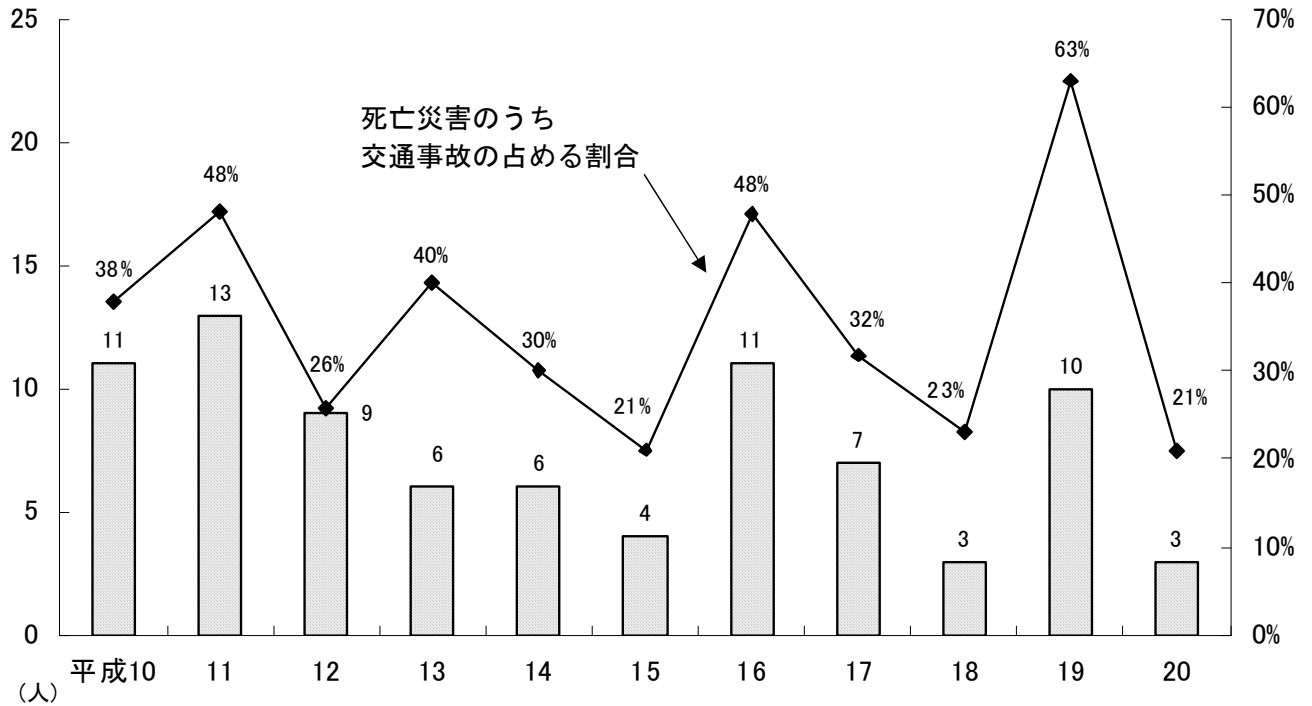
死亡災害は第2図に示すように、ここ数年は増減を繰り返しており、平成20年は14人で、前年に比べ2人減少した。

交通事故による死亡者数は、第3図に示すとおり3人で、前年より大幅に減少した。

<第2図> 死亡者数の推移



<第3図> 交通事故による死亡者数の推移

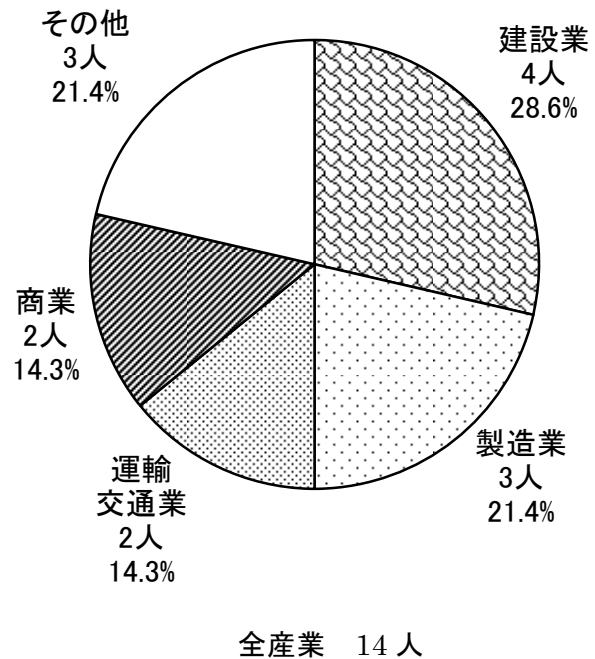
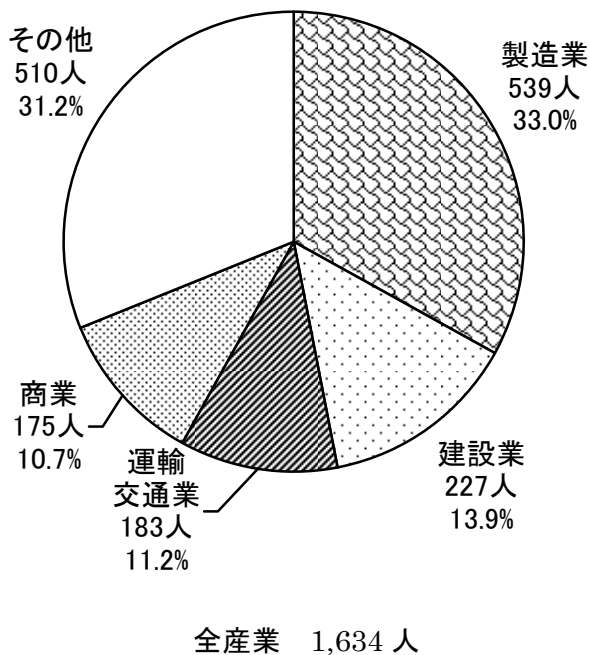


2. 業種別の発生状況 (平成20年)

- ① 休業4日以上死傷者数は、第4図に示すように製造業が33.0%を占め最も多く、ついで建設業の13.9%となっており、この2業種で全体の46.9%と約半数を占めている。また、商業等第三次産業の占める割合も高い。
- ② 死亡者数は、第2図、第5図に示すように、建設業で4人と前年と同人数であった。また、製造業で3人と前年より1人減少した。この2業種で全体の半数を占めている。

<第4図> 業種別死傷災害

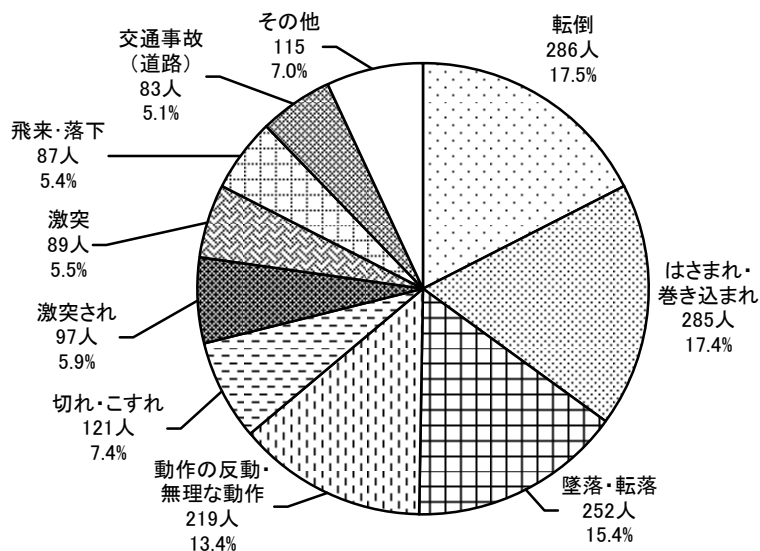
<第5図> 業種別死亡災害



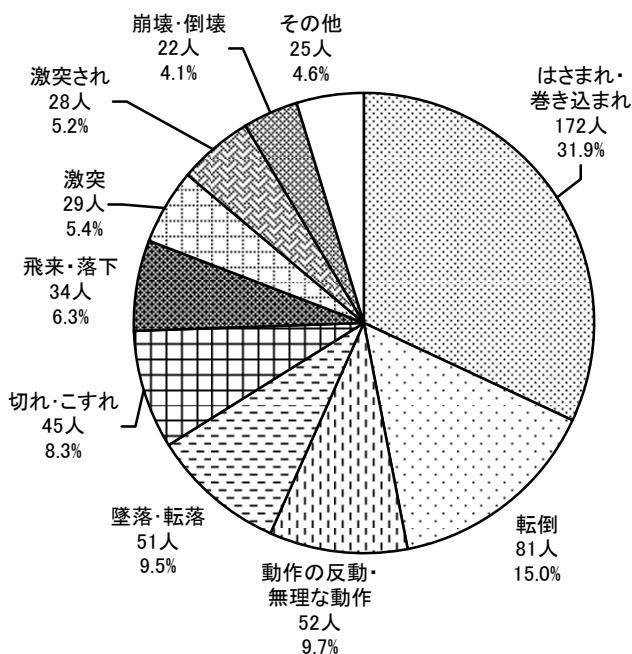
3. 事故の型別の状況（平成20年）

- ① 死傷者数を事故の型別で見ると、第6図に示すように「転倒」が17.5%と最も多く、次いで「はさまれ・巻き込まれ」が17.4%、「墜落・転落」が15.4%の順となっている。
- ② 事故の型別の死傷者数を業種別にみると、製造業では「はさまれ・巻き込まれ」が31.9%と最も多く、次いで「転倒」が15.0%、「動作の反動・無理な動作」が9.7%の順となっている。
また、建設業においては「墜落・転落」が33.9%と最も多く、次いで「はさまれ・巻き込まれ」が13.7%、「飛来・落下」が10.6%の順となっている。

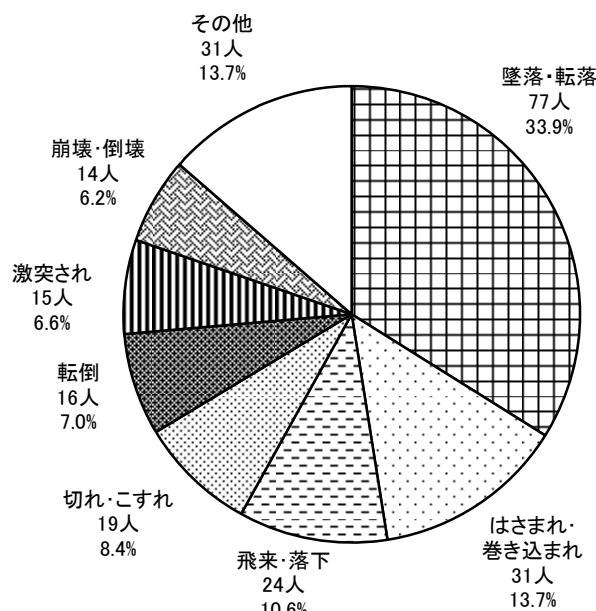
＜第6図＞ 事故の型別死傷災害



全産業 1,634人



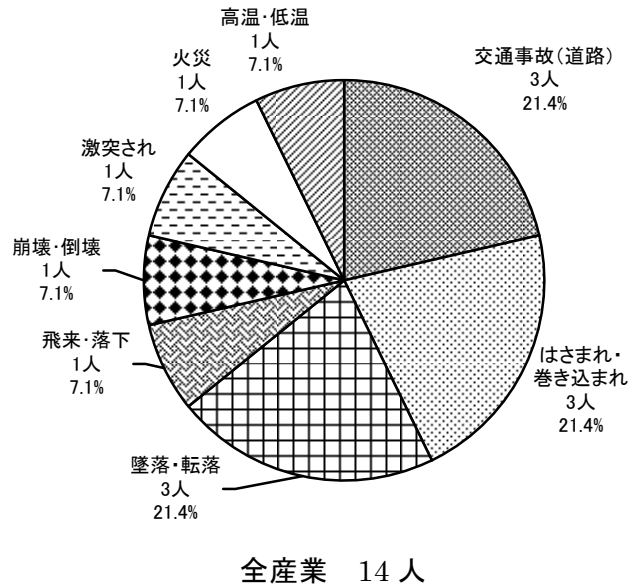
製造業 539人



建設業 227人

- ③ 死亡災害の事故の型別では、第7図に示すように「交通事故（道路）」「はさまれ・巻き込まれ」「墜落・転落」で3人発生している。

<第7図> 事故の型別死亡災害



4. 起因物別の状況(平成20年)

死傷者数を起因物別で見ると、第8図に示すように「仮設物・建築物・構築物等」が最も多く、19.7%を占めている。

製造業では「一般動力機械」に起因する災害が19.7%と最も多く、「仮設物・建築物・構築物等」が14.5%、「材料」が10.4%と続いている。また、建設業では、「仮設物・建築物・構築物等」が25.1%と最も多く、「用具」が18.1%、「材料」が10.6%と続いている。

<第8図> 起因物別死傷災害

